

四 第二項及び第三項（同条第二項に係る部分に限る。）第六十九條（第六十條に係る部分に限る。）第七十條（第十四號及び第十八號に係る部分に限る。）第七十一條（同法第五十條の十五第二項に係る部分に限る。）並びに第七十二條（第四號に係る部分に限る。）に係る部分に限る。）の罪

十 あへん法（昭和二十九年法律第七十一號）第六十一條（同法第五十一條第二項及び第三項（同条第二項に係る部分に限る。）並びに第五十二條第二項及び第三項（同条第二項に係る部分に限る。）に係る部分に限る。）の罪

十一 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和三十五年法律第一百四十五號）第九十條（第一號中同法第八十三條の九及び第八十四條（第二十七號（同法第七十六條の七第一項に係る部分に限る。）に係る部分並びに第二號中同法第八十四條（第二十七號（同法第七十六條の七第二項に係る部分に限る。）及び第二十八號に係る部分に限る。）第八十五條（第九號及び第十號に係る部分に限る。）第八十六條第一項（第二十五號及び第二十六號に係る部分に限る。）及び第八十七條（第十三號（同法第七十六條の八第一項に係る部分に限る。）及び第十五號に係る部分に限る。）に係る部分に限る。）の罪

十二 国際的な協力の下に規制薬物に係る不正行為を助長する行為等の防止を図るための麻薬及び向精神薬取締法等の特例等に関する法律（平成三年法律第九十四號）第十五條の罪

十三 金融商品取引法（昭和二十三年法律第二十五號）第二百七條第一項（第一號、第二號（同法第九十七條の二（第一號から第十號の三まで及び第十三號から第十五號までに係る部分に限る。）に係る部分に限る。）第三號（同法第九十八號（第八號に係る部分に限る。）に係る部分に限る。）第四號（同法第九十九條に係る部分に限る。）第五號（同法第二百條（第一號から第十二號の二まで、第二十號及び第二十一號に係る部分に限る。）に係る部分に限る。）及び第六號（同法第二百五條（第一號から第六號まで、第十九號及び第二十號に係る部分に限る。）に係る部分に限る。）に係る部分に限る。）の罪

十四 民事再生法（平成十一年法律第二百二十五號）第二百六十五條（同法第二百六十三條に係る部分を除く。）の罪

十五 外国倒産処理手続の承認援助に関する法律（平成十二年法律第二百二十九號）第七十一條の罪

十六 会社更生法（平成十四年法律第五百四十四號）第二百七十五條の罪

十七 破産法（平成十六年法律第七十五號）第二百七十七條（同法第二百七十五條に係る部分を除く。）の罪

十八 会社法（平成十七年法律第八十六號）第九百七十五條の罪

十九 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成十八年法律第四十八號）第三百四十一條の罪

二十 物価統制令（昭和二十一年勅令第百十八號）第四十條（同法第三十五條（同法第十二條に係る部分に限る。）に係る部分に限る。）の罪（これに当たる行為が、貸付けの契約の締結又は当該契約に基づく債権の取立てに当たって行われたものに限る。）

二十一 農業協同組合法（昭和二十二年法律第百三十二號）第百條の六第一項の罪
二十二 水産業協同組合法（昭和二十三年法律第二百四十二號）第百二十九條の九第一項の罪
二十三 中小企業等協同組合法（昭和二十四年法律第八十一號）第百四十四條の四第一項の罪
二十四 協同組合による金融事業に関する法律（昭和二十四年法律第八十三號）第十一條第一項の罪
二十五 信用金庫法（昭和二十六年法律第二百三十八號）第九十條の七第一項の罪
二十六 長期信用銀行法（昭和二十七年法律第百八十七號）第二十六條第一項の罪
二十七 労働金庫法（昭和二十八年法律第二百二十七號）第百條の七第一項の罪
二十八 出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律（昭和二十九年法律第九十五號）第九條第一項の罪
二十九 銀行法（昭和五十六年法律第五十九號）第六十四條第一項の罪

三十 貸金業法（昭和五十八年法律第三十二號）第五十一條第一項の罪

三十一 金融サービスの提供に関する法律（平成十二年法律第百一號）第九十五條第一項の罪

三十二 農林中央金庫法（平成十三年法律第九十三號）第九十九條の四第一項の罪

三十三 株式会社商工組合中央金庫法（平成十九年法律第七十四號）第七十五條第一項の罪

三十四 資金決済に関する法律（平成二十一年法律第五十九號）第百十五條第一項の罪

三十五 労働基準法（昭和二十二年法律第四十九號）第百二十一條（同法第百十七條、第百十八條第一項（同法第六條及び第五十六條に係る部分に限る。）及び第百十九條（第一號（同法第六十一條及び第六十二條に係る部分に限る。）に係る部分に限る。）に係る部分に限る。）（船員職業安定法（昭和二十三年法律第百三十號）第八十九條第一項及び労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律（昭和六十年法律第八十八號）第四十四條第四項の規定により適用する場合を含む。）の罪

三十六 船員法（昭和二十二年法律第百號）第百三十五條第一項（同法第百二十九條（同法第八十五條第一項及び第二項に係る部分に限る。）及び第百三十條（同法第八十六條第一項に係る部分に限る。）に係る部分に限る。）（船員職業安定法第八十九條第五項及び第八項並びに第九十二條第一項の規定により適用する場合を含む。）の罪

三十七 職業安定法（昭和二十二年法律第百四十一號）第六十七條（同法第六十三條に係る部分に限る。）の罪

三十八 児童福祉法（昭和二十二年法律第百六十四號）第六十二條の三（同法第六十條第一項及び第二項（同法第三十四條第一項第四號の三、第五號、第七號及び第九號に係る部分に限る。）に係る部分に限る。）の罪

三十九 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和二十三年法律第百二十二號）第五十六條（同法第四十九條及び第五十條第一項に係る部分に限る。）の罪

四十 船員職業安定法第百十五條（同法第百十一條に係る部分に限る。）の罪

四十一 出入国管理及び難民認定法（昭和二十六年政令第三百十九號）第七十六條の二（同法第七十三條の二第一項に係る部分に限る。）の罪

四十二 労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律第六十二條（同法第五十八條に係る部分に限る。）の罪

四十三 児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律（平成十一年法律第五十二號）第十一條の罪

四十四 外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律（平成二十八年法律第八十九號）第百十三條（同法第百八條に係る部分に限る。）の罪

四十五 国税又は地方税に関する法律中偽りその他不正の行為により国税若しくは地方税を免れ、納付せず、若しくはこれらの税の還付を受け、又はこれらの違反行為をしようとするに關する罪を定めた規定の罪

二 法第四十一條第二項第二号イ（六）（法第四十三條第四項、第四十五條第二項、第四十六條第二項、第四十七條第二項及び第四十八條第三項において準用する場合を含む。）の政令で定める罪は、次に掲げる罪とする。

- 一 当せん金付証券法第十八條第一項又は第十九條の罪
- 二 競馬法（昭和二十三年法律第百五十八號）第五章の罪
- 三 自転車競技法第六章の罪
- 四 小型自動車競走法第七章の罪
- 五 モーターボート競走法第七章の罪
- 六 日本中央競馬会法（昭和二十九年法律第二百五號）第七章の罪
- 七 スポーツ振興投票の実施等に関する法律第七章の罪
- 八 売春防止法第二章の罪
- 九 大麻取締法第二十五條第一項（第一号に係る部分に限る。以下この号において同じ。）又は第二十七條（同法第二十五條第一項に係る部分に限る。）の罪

- 十 覚醒剤取締法第四十一条の五第一項(第三号に係る部分に限る。以下この号において同じ。)
又は第四十四条(同法第四十一条の五第一項に係る部分に限る。)の罪
- 十一 麻薬及び向精神薬取締法第六十九条(第六号に係る部分に限る。以下この号において同じ。)、第七十条(第十四号及び第十八号に係る部分に限る。以下この号において同じ。)、第七十一条(同法第五十条の十五第二項に係る部分に限る。以下この号において同じ。)、第七十二条(第四号に係る部分に限る。以下この号において同じ。)、第七十三条又は第七十四条(同法第六十九条及び第七十条から第七十二条までに係る部分に限る。)の罪
- 十二 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第八十三条の九、第八十四条(第二十七号(同法第七十六条の七第一項及び第二項に係る部分に限る。))及び第二十八号に係る部分に限る。)、第八十五条(第九号及び第十号に係る部分に限る。以下この号において同じ。)、第八十六条第一項(第二十五号及び第二十六号に係る部分に限る。以下この号において同じ。)、第八十七条(第十三号(同法第七十六条の八第一項に係る部分に限る。))及び第二十五号に係る部分に限る。以下この号において同じ。))又は第九十条(第一号中同法第八十三条の九及び第八十四条(第二十七号(同法第七十六条の七第一項に係る部分に限る。))に係る部分に限る。))に係る部分並びに第二号中同法第八十四条(第二十七号(同法第七十六条の七第一項に係る部分に限る。))及び第二十八号に係る部分に限る。))及び第八十五条、第八十六条第一項及び第八十七条に係る部分に限る。)の罪
- 十三 国際的な協力の下に規制薬物に係る不正行為を助長する行為等の防止を図るための麻薬及び向精神薬取締法等の特例等に関する法律第三章の罪
- 十四 金融商品取引法第九十七条第一項、第九十七条の二(第一号から第十号の三まで及び第十三号から第十五号までに係る部分に限る。以下この号において同じ。)、第九十八条(第八号に係る部分に限る。以下この号において同じ。)、第九十九条、第一百条(第一号から第十二号の二まで、第二十号及び第二十一号に係る部分に限る。以下この号において同じ。)、第一百零三条第三項、第一百零五条(第一号から第六号まで、第十九号及び第二十号に係る部分に限る。以下この号において同じ。))又は第二百七条第一項(第一号(同法第九十七条第一項に係る部分に限る。))、第二号(同法第九十七条の二に係る部分に限る。))、第三号(同法第九十八条に係る部分に限る。))、第四号(同法第九十九条に係る部分に限る。))、第五号(同法第一百零二条に係る部分に限る。))及び第六号(同法第二百五十五条に係る部分に限る。))に係る部分に限る。)の罪
- 十五 民事再生法第二百五十五条、第二百五十六条、第二百五十八条から第二百六十条まで、第二百六十二条又は第二百六十五条(同法第二百六十三条に係る部分を除く。)の罪
- 十六 外国倒産処理手続の承認援助に関する法律第六十五条、第六十六条、第六十八条、第六十九条又は第七十一条の罪
- 十七 会社更生法第二百六十六条、第二百六十七条、第二百六十九条から第二百七十一条まで、第二百七十二条又は第二百七十五条の罪
- 十八 破産法第二百六十五条、第二百六十六条、第二百六十八条から第二百七十二号まで、第二百七十四号又は第二百七十七号(同法第二百七十五条に係る部分を除く。)の罪
- 十九 会社法第八編の罪
- 二十 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第七章の罪
- 二十一 刑法(明治四十年法律第四十五号)第七十四条、第七十五条、第七十六条、第七十七条、第七十八条、第七十九条、第一百零三条(同法第二百三十五条に係る部分に限る。))、第二百四十七条、第二百五十条(同法第二百四十七条に係る部分に限る。))又は第二百五十四条の罪
- 二十二 物価統制令第三十五条(同法第十二条に係る部分に限る。以下この号において同じ。))若しくは第四十条(同法第三十五条に係る部分に限る。))、刑法(前号に規定する規定並びに第一百八十五条及び第一百八十七号の規定を除く。))、暴力行為等処罰に関する法律(大正十五年法律第六十号)又は組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律(平成十一年法律第九十六号)第九号第一項から第三項まで、第十条、第十一条及び第十七号を除く。)の罪(以下この号において同じ。))

- れらに当たたる行為が、貸付けの契約の締結又は当該契約に基づく債権の取立てに当たって行われたものに限る。))
- 二十三 農業協同組合法第九章の罪
- 二十四 水産業協同組合法第十章の罪
- 二十五 中小企業等協同組合法第六章の罪
- 二十六 協同組合による金融事業に関する法律第八條の二から第十條の二の二まで、第十條の二の四から第十條の三まで又は第十一條第一項の罪
- 二十七 信用金庫法第十一章の罪
- 二十八 長期信用銀行法第二十三条の二から第二十五条の二の二まで、第二十五条の二の四から第二十五条の三まで又は第二十六条第一項の罪
- 二十九 労働金庫法第十一章の罪
- 三十 出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律第五条、第五条の二第一項、第五条の三、第八條第一項から第三項まで又は第九條第一項の罪
- 三十一 銀行法第九章の罪
- 三十二 貸金業法第五章の罪
- 三十三 金融サービス提供に関する法律第四章の罪
- 三十四 農林中央金庫法第十一章の罪
- 三十五 株式会社商工組合中央金庫法第十章の罪
- 三十六 資金決済に関する法律第八章の罪
- 三十七 労働基準法第一百七七条、第一百八条第一項(同法第六条及び第五十六条に係る部分に限る。以下この号において同じ。))、第一百九条(第一号(同法第六十一条及び第六十二条に係る部分に限る。))に係る部分に限る。以下この号において同じ。))又は第二百一一条(同法第七七条、第一百八条第一項及び第一百九条に係る部分に限る。))これらの規定を船員職業安定法第八十九条第一項及び労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律第四十四条第四項の規定により適用する場合を含む。)の罪
- 三十八 船員法第二百九条(同法第八十五条第一項及び第二項に係る部分に限る。以下この号において同じ。))、第三百三十条(同法第八十六条第一項に係る部分に限る。以下この号において同じ。))又は第三百三十五条第一項(同法第二百九条及び第三百三十条に係る部分に限る。))これらの規定を船員職業安定法第八十九条第五項及び第八項並びに第九十二条第一項の規定により適用する場合を含む。)の罪
- 三十九 職業安定法第六十三条又は第六十七条(同法第六十三条に係る部分に限る。)の罪
- 四十 児童福祉法第六十条第一項若しくは第二項(同法第三十四条第一項第四号の三、第五号、第七号及び第九号に係る部分に限る。以下この号において同じ。))又は第六十二条の三(同法第六十条第一項及び第二項に係る部分に限る。)の罪
- 四十一 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第四十九条、第五十条第一項又は第五十六条(同法第四十九条及び第五十条第一項に係る部分に限る。)の罪
- 四十二 船員職業安定法第一百零一条又は第一百零五条(同法第一百零一条に係る部分に限る。)の罪
- 四十三 出入国管理及び難民認定法第七十三条の二第一項又は第七十六条の二(同法第七十三条の二第一項に係る部分に限る。)の罪
- 四十四 労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律第五十八条又は第六十二条(同法第五十八条に係る部分に限る。)の罪
- 四十五 児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律第四條、第五條第一項、第六條第一項、第七條又は第十條(同法第五條第二項及び第六條第二項に係る部分を除く。)の罪
- 四十六 外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律第八條又は第一百零三条(同法第八條に係る部分に限る。)の罪
- 四十七 前項第四十五号に掲げる罪

(認可主要株主等に係る認可の欠格事由に係る罪)
第八条 法第六十条第二項第一号ロの政令で定める罪は、前条第二項第一号から第十三号までに掲げる罪とする。
 2 法第六十条第二項第二号ロの政令で定める罪は、前条第一項第一号から第十二号までに掲げる罪とする。

第二節 カジノ事業者が行う業務

(入場者から除かれる者)
第九条 法第六十八條第一項第一号の政令で定める者は、業務又は公務としてカジノ行為区画に入場し、又は滞在する者とする。
 (入場規制の例外となる場合)
第十条 法第六十九條の政令で定める場合は、次に掲げる場合とする。
 一 法第六十九條第一号に掲げる者が業務として法第二十条第十項第三号に掲げる区画に入場し、又は滞在する場合
 二 法第六十九條第四号又は第五号に掲げる者が業務としてカジノ施設に入場し、又は滞在する場合
 三 法第六十九條第一号、第四号又は第五号に掲げる者が公務としてカジノ施設に入場し、又は滞在する場合
 (供託が必要となる基準日特定資金受入残高の最低額)
第十一条 法第八十四條第二項の政令で定める額は、千万円とする。
 (特定資金受入保証金及び特定資金受入要供託額に関する技術的読替え)
第十二条 法第八十四條第三項の規定による技術的読替えは、次の表のとおりとする。

第八十条第二項	読み替えられる字句	読み替えられる字句
第八十一条第二項及び第三項	特定資金移動履行保証金保全契約	第八十四条第二項
第八十一条第三項	前条第一項	第八十四条第二項
第八十一条第三項第一号	基準日における	基準日(毎年三月三十一日及び九月三十日)をいう。以下同じ。における
第八十二条第一項	第八十条第一項	第八十四条第二項
第八十三条	前三条	次条第二項並びに同条第三項において準用する第八十条第二項及び前二条
	第八十条第一項	次条第二項

(債権を譲り受けた者への規制に関する技術的読替え)
第十三条 法第九十条の規定による技術的読替えは、次の表のとおりとする。

第七十七条第三号	読み替えられる字句	読み替えられる字句
第八十五条第三項	種別及び内容	内容
	付することを内容とする特定資産受領し、又は金貸付契約を締結し、又は利息を受領し、若しくは	譲受者等
第八十八条	カジノ事業者等	譲受者等
第八十八条第二項第一号	カジノ事業者	当該特定資金貸付契約に係るカジノ事業者及び当該債権を譲り受けた者
第八十八条第二項第三号	年月日	年月日及び当該特定資金貸付契約に基づく債権を譲り受けた年月日
第八十八条第二項第四号	金額	金額及び譲り受けた債権の金額

(契約を締結してはならない相手方の要件に係る罪)
第十四条 法第九十四条第二号ハの政令で定める罪は、第八條第一項に規定する罪(法人にあっては、同条第二項に規定する罪)とする。

(外国人旅客の乗降、待合しその他の用に供する施設)
第十五条 法第六十六条第二項第一号の政令で定める施設は、航空法(昭和二十七年法律第二百三十一号)第二十条第十九項に規定する国際航空運送事業の用に供される空港内の旅客ターミナル施設又は海上運送法(昭和二十四年法律第八十七号)第十九条の四第一項に規定する対外旅客定期航路事業若しくは本邦の港と本邦以外の地域の港との間における人の運送をする同法第二条第六項に規定する不定期航路事業の用に供される港湾内の旅客施設(これらの施設のうち、外国人旅客が入国に際し次に掲げる処分に係る手続を完了するまで滞在することができる部分に限る。)とする。

一 出入国管理及び難民認定法第三条第一項第二号に規定する上陸の許可等
 二 関税法(昭和二十九年法律第六十一号)第六十七条の許可
 (届出の対象となる取引)
第十六条 法第九十九条第一項の政令で定める取引は、次に掲げる取引とする。
 一 チップの交付若しくは付与又は受領をする取引
 二 法第二十条第八項第二号ロに規定する特定資金受入業務に係る金銭の受入れ若しくは払戻し、特定資金貸付契約に係る債権の弁済の受領又は同号ニに掲げる業務に係る金銭の両替
 三 カジノ行為関連品類(法第二十条第十三項第一号に掲げるものに限る。)の提供
 2 法第九十九条第一項の政令で定める額は、百万円とする。

第三章 カジノ事業者の従業者
第十七条 法第六十六条第二項第二号(法第六十七条第四項において準用する場合を含む。)の政令で定める罪は、第七條第二項各号(第十四号から第二十号までを除く。)に掲げる罪とする。
第十八条 (カジノ施設供用事業の免許等に関する技術的読替え)
 法第三十条の規定による技術的読替えは、次の表のとおりとする。

第四十一条第三項	読み替えられる字句	読み替えられる字句
第四十二条第一項	第一項各号	第百二十六条第一項各号
	カジノ行為の種類及び方法、力並びにカジノ施設の構造及び設備のジノ施設の構造及び設備の概要並びに特定金融業務の実施の有無及びその種別	第百二十六条第一項(第一号(第四十六條第二項、第四十七條第一項(第五号及び第六号)並びに第四十七條第七号から第十号まで)第二項
第四十八條第五項、第六項第一項、第十一項及び第十二項	第七項	第百二十九條第一項
第四十九條第一号	第四十三條第二項の更新又は	同条第五項
	、第四十七條第一項若しくは前条	第百二十七條第二項の更新又は第百二十九條第一項の承認若しくは第百三十條において準用する
第四十九條第二号	第四十一條第一項各号	第百二十六條第一項各号
第四十九條第三号	第四十一條第二項各号	第百二十六條第二項各号
第四十九條第四号	第四十四條第三項	第百二十八條第三項

第四十八條第六項	第一項	第四十七條第一項	
第四十九條第一號	前項	同條第三項	
第四十九條第二號	第四十三條第二項の更新又は	第四十六條第二項の更新又は 若しくは第四十九條において準用する	
第四十九條第三號	第四十七條第一項若しくは前條第一項	若しくは第四十七條第一項	
第五十一條第一項第二號	第四十一條第一項各号	第四十五條第一項各号	
第五十二條第二項	第四十一條第二項各号	第四十五條第二項各号	
第五十二條第二項	第二百四十一條第一項第十號	第四百四十五條第一項第六号	
<p>第二十九條 第二十七條第一項の規定は法第四百四十九條において前條の規定により読み替えて準用する法第四十五條第二項、第四十六條第二項及び第四十七條第二項において準用する法第四百四十五條第二項第一号ハの政令で定める罪について、第二十七條第二項の規定は法第四百四十九條において前條の規定により読み替えて準用する法第四十五條第二項、第四十六條第二項及び第四十七條第二項において準用する法第四百四十五條第二項第二号イ(2)の政令で定める罪について、それぞれ準用する。</p> <p>(カジノ) 関連機器等外国製造業の認定等に関する技術的読替え)</p> <p>第三十條 第二十八條(同條の表第四十二條第一項及び第三項、第四十五條第三項、第四十六條第三項、第四十七條第三項、第四十八條第六項並びに第五十一條の項及び第四十九條の規定による技術的読替え)の規定は、法第五百十條第二項において準用する法第四百十九條の規定によるほか、法第五百十條第二項の規定による技術的読替えは、次の表のとおりとする。</p>		<p>読み替えられる法の規定</p> <p>読み替えられる読み替える読み替える法</p> <p>読み替えられる読み替える読み替える法</p>	
<p>第二百四十四條第二項第二号(第四百四十六條第四項において準用する登記事項証明書を含む。)</p> <p>第四百四十五條第一項第六号(第四百四十六條第四項及び第四百四十七條第二項並びに第四百四十九條においてこの政令第二十八條の規定により読み替えて準用する第四十五條第二項、第四十六條第二項、第四十七條第二項において準用する場合を含む。)</p> <p>第四百四十五條第二項第一号イ(第四百四十九條においてこの政令第二十八條の規定により読み替えて準用する第四十五條第二項、第四十六條第二項及び第四十七條第二項において準用する場合を含む。)</p> <p>第四百四十九條において準用する第四十二條第一項(第四百四十六條第四項において準用する場合を含む。)</p>	<p>登記事項証明書</p> <p>登記事項証明書(これらに準ずるものを含む)</p> <p>定款(これに準ずるものを含む)</p> <p>会社又は外国会社</p>	<p>読み替えられる読み替える読み替える法</p> <p>読み替えられる読み替える読み替える法</p>	<p>読み替えられる読み替える読み替える法</p> <p>読み替えられる読み替える読み替える法</p>
<p>第二百二十三條</p>	<p>読み替えられる読み替える読み替える法</p> <p>読み替えられる読み替える読み替える法</p>	<p>第二百二十三條</p>	<p>読み替えられる読み替える読み替える法</p> <p>読み替えられる読み替える読み替える法</p>
<p>第二百二十三條</p>	<p>読み替えられる読み替える読み替える法</p> <p>読み替えられる読み替える読み替える法</p>	<p>第二百二十三條</p>	<p>読み替えられる読み替える読み替える法</p> <p>読み替えられる読み替える読み替える法</p>

第三節 指定試験機関

(認可主要株主等に係る認可の欠格事由に係る罪)

第三十四条 第八条第一項の規定は法第六十四條において準用する法第六十條第二項第一号口の政令で定める罪について、第八條第二項の規定は法第六十四條において準用する法第六十條第二項第二号口の政令で定める罪について、それぞれ準用する。
(認可主要株主等に関する技術的読替え)
第三十五条 法第六十四條の規定による技術的読替えは、次の表のとおりとする。

読み替える法の読み替えられる字句	読み替える字句
第五十八條第二項設置運營業業者が第三十九條の免許	第三十條第一項に規定する指定試験機関にならうとする者(株式会社であるものに限る。)が同項の規定による指定
第五十九條第二項に規定する者の確認の欠格事由に係る罪	指定の

(特定の業務に従事する者の確認の欠格事由に係る罪)
第三十六條 法第六十五條第二項において準用する法第六十六條第二項第二号(法第六十五條第二項において準用する法第六十七條第四項において準用する場合を含む。)の政令で定める罪は、第三十二條に規定する罪とする。

(特定の業務に従事する者の確認の欠格事由に係る罪)
第三十七條 法第六十五條第二項の規定による技術的読替えは、次の表のとおりとする。
読み替える法の規定

読み替えられる字句	読み替える字句
第三十七條第一項第二号前条各号	第三十七條第一項各号
並びに同条第一号に掲げる業務に係る同号イからラへまでに掲げる事項の別、同条第二号に掲げる業務に係る同号イからニまでに掲げる事項の別、同条第三号に掲げる業務に係る同号イからルまでに掲げる業務の別及び同条第四号のカジノ管理委員会規則で定める業務の別をいう	並びに同条第一号に掲げる業務に係る同号イからラへまでに掲げる事項の別、同条第二号に掲げる業務に係る同号イからニまでに掲げる事項の別、同条第三号に掲げる業務に係る同号イからルまでに掲げる業務の別及び同条第四号のカジノ管理委員会規則で定める業務の別をいう

第二百二十條第二号	第三十九條の免許	第五十九條第一項の規定による指定
第二百二十三條	第一百四十四條、	第六十五條第一項の規定並びに同条第二項において準用する
第六十條	第八十八條及び前二條	及び第八十八條

第六章 カジノ施設への入場等の制限

(入場制限の例外となる場合)
第三十八條 法第七十三條の政令で定める場合は、第十條各号に掲げる場合とする。
(カジノ行為の制限の例外となる場合)
第三十九條 法第七十四條第二項の政令で定める場合は、カジノ管理委員会の事務局の職員がカジノ管理委員会の所掌事務の遂行に必要な調査としてカジノ行為を行う場合とする。

第七章 入場料及び認定都道府県等入場料並びに国庫納付金及び認定都道府県等納付金
(入場料納入金等の納付)
第四十條 カジノ事業者は、次の各号に掲げる規定により当該各号に定める金銭を納付しようとするときは、納付書を添付しなければならない。

- 一 法第七十九條第一項 入場料納入金及び認定都道府県等入場料納入金
- 二 法第九十二條第一項 国庫納付金
- 三 法第九十三條第一項 認定都道府県等納付金
(法第七十九條第一項等の政令で定める日)
- 第四十一條 法第七十九條第一項、第九十二條第一項及び第九十三條第一項の政令で定める日は、十五日とする。

(入場料納入金等の保管)
第四十二條 カジノ管理委員会は、カジノ事業者から入場料納入金及び認定都道府県等入場料納入金の納付があったときは、これらを受け入れた後に、入場料納入金を一般会計の歳入に繰り入れるため及び認定都道府県等入場料納入金を認定都道府県等へ払い込むために必要な現金を保管することができる。
2 前項の規定は、カジノ事業者から国庫納付金又は認定都道府県等納付金の納付があったときについて準用する。

(認定都道府県等入場料納入金又は認定都道府県等納付金の払込み)
第四十三條 国は、法第七十九條第二項又は第九十三條第三項の規定による払込みを行う場合には、これらの規定により払い込む認定都道府県等入場料納入金又は認定都道府県等納付金の納付額その他必要な事項を認定都道府県等の長に通知するものとする。
(法第八十三條第一項の政令で定める日)

第四十四條 法第八十三條第一項の政令で定める日は、十五日とする。

(特別加算金)
第四十五條 法第八十五條第一項の規定により加算金に代えて特別加算金を徴収する場合には、同条に基づき計算した特別加算金を徴収するものとする。
2 法第八十五條第一項に規定する隠蔽し、又は仮装されていない事実に基づく入場料納入金又は認定都道府県等入場料納入金の額として政令で定めるところにより計算した金額は、加算金の額の計算の基礎となるべき入場料納入金又は認定都道府県等入場料納入金の額のうち当該事実のみに基づく場合における入場料納入金又は認定都道府県等入場料納入金の額とする。
(国庫納付金及び認定都道府県等納付金の申告及び徴収に関する準用)

第四十六條 前二條の規定は、法第九十五條において法第八章第二節の規定を準用する場合について準用する。

第八章 雑則

(審査費用の概算額の算定)

第四十七條 法第二十三條第二項及び第三項の規定による概算額の算定は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるところにより行うものとする。
一 法第二十三條第二項の概算額 同条第一項の審査のために必要な調査の対象となる者の数その他の審査の対象となる事項に関する数量に応じて当該審査に要すると見込まれる人件費、物件費、旅費その他の費用を勘案して算定すること。

二 法第二十三條第三項の概算額 同項の追加の調査に要すると見込まれる人件費、物件費、旅費その他の費用を勘案して算定すること。
(審査費用の概算額等の通知)
第四十八條 法第二十三條第二項から第四項までの規定による概算額又は不足額の通知は、同条第七項に規定する事項並びに納付の期限及び場所を記載した書面をもってするものとする。

(審査費用の概算額に係る現金の保管)
第四十九條 カジノ管理委員会は、法第二十三條第二項又は第三項の規定による概算額の納付があったときは、同条第一項の審査が終了した後に当該概算額の全部若しくは一部を一般会計の歳入に繰り入れるため、又は次条の規定により当該概算額の全部若しくは一部を当該概算額を納付した者に返還するため、当該概算額に係る現金の全部を保管するものとする。

(審査費用を超える額の返還)

第五十条 カジノ管理委員会は、法第二百三十四条第二項又は第三項の規定により概算額として納付された額が同条第一項の費用を超えるときは、その超える額について、遅滞なく、当該概算額を納付した者に返還するものとする。

附則 抄

(施行期日)

第一条 この政令は、法の施行の日から施行する。ただし、第一章の規定は、法附則第一条第二号に掲げる規定の施行の日(平成三十一年四月一日)から施行する。

附則 (令和二年三月一日政令第四〇号)

この政令は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律第四条(覚せい剤取締法(昭和二十六年法律第二百五十二号)第九条第一項第二号の改正規定を除く。)の規定の施行の日(令和二年四月一日)から施行する。

附則 (令和二年七月八日政令第二七号) 抄

(施行期日)

第一条 この政令は、改正法施行日(令和二年十二月一日)から施行する。

附則 (令和二年七月二八日政令第二二八号) 抄

この政令は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律(以下「改正法」という。)の施行の日(令和二年九月一日)から施行する。

附則 (令和三年六月二日政令第一六二号) 抄

(施行期日)

1 この政令は、金融サービスの利用者の利便の向上及び保護を図るための金融商品の販売等に関する法律等の一部を改正する法律(以下「改正法」という。)の施行の日(令和三年十一月一日)から施行する。

附則 (令和四年一月四日政令第六号) 抄

(施行期日)

第一条 この政令は、改正法の施行の日(令和四年四月一日)から施行する。

附則 (令和四年一月二日政令第三四〇号)

この政令は、公布の日から施行する。